

□・BASF

We create chemistry

だいず、ばれいしょ、たまねぎ、とうもろこし、
飼料用とうもろこしの除草に

畑作用除草剤

モーティブ[®] 乳剤

畑作除草剤定番2剤のいいとこどり!

ゴーゴーサン乳剤とフィールドスターP乳剤の
異なる成分の混合により広範囲の雑草に有効です。





=



+



特長

広範囲の畑地一年生雑草に有効!!

フィールドスターPとゴーゴースンとの混合により更に広い範囲の雑草に有効です。

持続効果に優れる!!

優れた残効性により長期間にわたり効果が持続します。

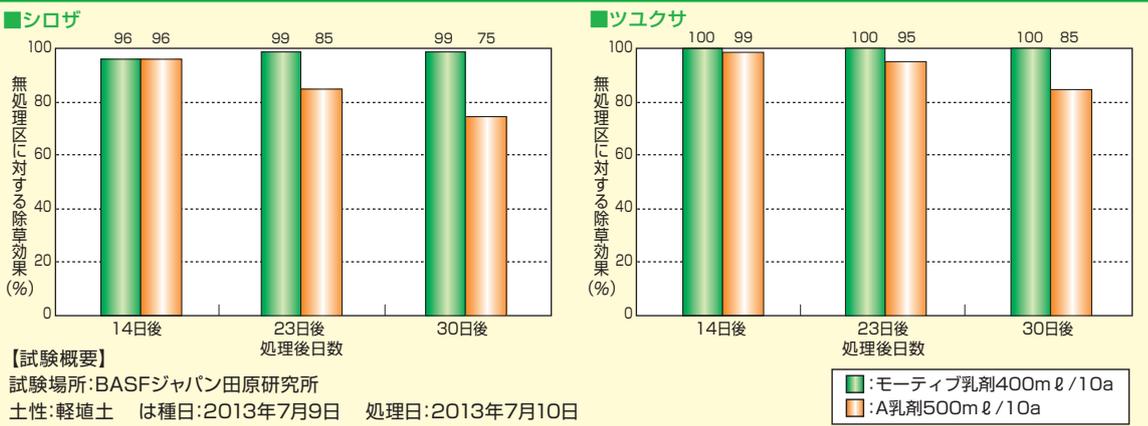
問題雑草を抑える!!

シロザやツククサなど問題雑草にも高い効果を示します。

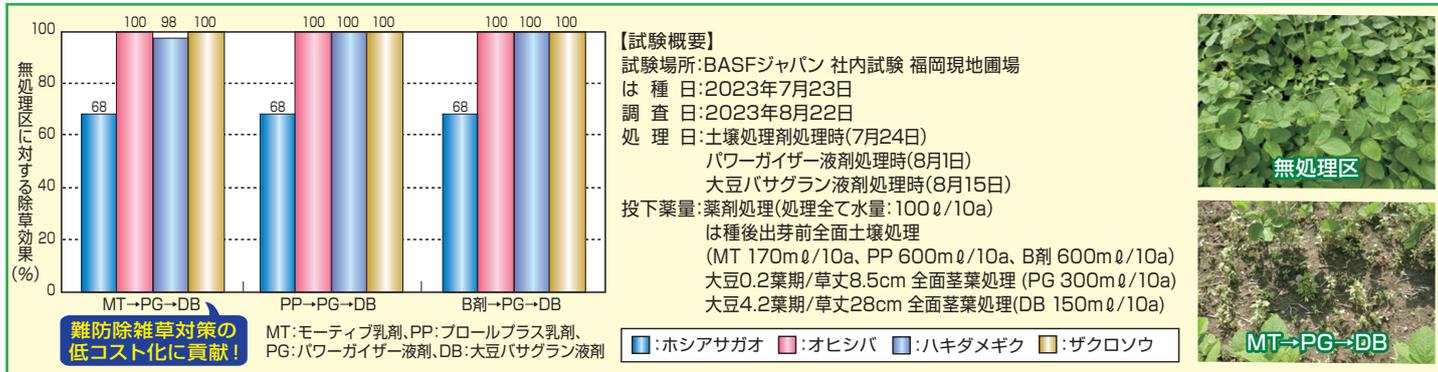
適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ジメテナミド及びジメテナミドPを含む農薬の総使用回数	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
かのこそう	一年生雑草	定植後(雑草発生前) 但し、収穫90日前まで	300mℓ/10a	100ℓ/10a	1回	全面 土壌 散布	1回	1回
とうもろこし		は種後~とうもろこし2葉期 (イネ科雑草2葉期まで)	200~400mℓ/10a	100ℓ/10a				
飼料用とうもろこし								
たまねぎ		定植前(雑草発生前)	200~400mℓ/10a	100ℓ/10a				
		定植後(雑草発生前) 但し、定植45日後まで						
ばれいしょ		植付後萌芽前(雑草発生前)	150~170mℓ/10a	70~150ℓ/10a				
だいず、えだまめ	は種後出芽前(雑草発生前)							

各種雑草に対する効果



だいずの異なる体系処理での効果比較



【効果・薬害等の注意(抜粋)】

- 砂土では使用しないでください。
- 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、天候を見きわめてから散布してください。
- 砕土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行い、覆土深を2~3cm以上にしてください。
- 本剤は衣服や自動車、壁などの塗装面に散布液や原液がかかると変色するおそれがあるので、かからないよう注意してください。

- 1.使用前にラベルをよく読んでください。
- 2.ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 3.小児の手の届く所には置かないでください。
- 4.使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 5.防除日誌を記帳しましょう。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>



製品情報はこちら!



●このチラシの記載内容は2024年4月現在のものです。

BASF00825 6
202404